

# 「もと」をつくる

『生徒指導だより』  
平成29年5月1日  
第1号  
発行 生徒指導部

鹿中の校訓と身につけたい態度

**校訓 「もと」をつくる**  
**「もと」とは、人間としての心がまえ、態度である**  
(初代校長 石川 延蔵 先生)

**小鹿野中学校で身につけたい5つの態度**

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1 整然とした環境をつくらうとする態度 | ⇒ 整然とした教室づくり   |
| 2 望ましい方向に努力する態度     | ⇒ 授業開始時刻を守る    |
| 3 人と心を繋ごうとする態度      | ⇒ 場に応じたさわやかな挨拶 |
| 4 人を大切にし相手に敬意を表す態度  | ⇒ 元気な返事        |
| 5 自らを律する規律ある態度      | ⇒ 姿勢を正す        |

校訓『「もと」をつくる』は、小鹿野中学校の初代の校長先生である石川延蔵先生が、中学ニュース第1号（現在の学校だよりにあたるもの）の中で書かれた言葉です。発刊は、昭和22年6月5日です。この昭和22年は、現在の学校教育がスタートした年、つまり小学校6年・中学校3年・高等学校3年（6・3・3制）が始まった年です。

石川延蔵先生は、この中学ニュースで以下のように書かれています。

勉強というと本を読むこと、書くこと、算数をするに位に考える人が多いと思います。それもたしかに勉強です。しかし、子供の教育というのは、根本がそこにあるのではなく、子供達がやがて人間として、社会人として、幸福な生活をしていけるその「もと」をつくることにあります。この「もと」とはなんでしょうか。人間としての心がまえです。態度なのです。読み書き、そろばんだけに力をいれて、他のことを軽く扱うことにしましょう。それで人間らしい生活態度ができていくでしょうか。

この中学校3年間で、この校訓のように、人間として、社会人として生活していける「もと」を身に付けていきましょう。小鹿野中学校では、「あたりまえ」を育てることを目指し、「身につけたい5つの態度」に取り組んでいます。

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1 整然とした環境をつくらうとする態度 | → 「教室をきれいにしましょう」  |
| 2 望ましい方向に努力する態度     | → 「時間を守りましょう」     |
| 3 人と心を繋ごうとする態度      | → 「さわやかな挨拶をしましょう」 |
| 4 人を大切にし相手に敬意を表す態度  | → 「元気な返事をしましょう」   |
| 5 自らを律する規律ある態度      | → 「姿勢を正しましょう」     |

学校では、この5項目を徹底することで、「もと」となる心がまえ、態度を育てていきます。このような面は、学校と家庭・地域の理解と協力が不可欠です。是非、ご理解ご協力をお願いします。

4、5月は交通事故の発生件数が増加します。歩行者は広がらずに右側通行し、横断歩道や歩道橋をしっかりと渡りましょう。自転車は、左側通行し、交通ルールをしっかりと守り、余裕をもって事故なく安全に登下校しましょう。

**【お知らせ】**

名札を紛失したり、破損してしまった場合には、プラスチック製の名札を新たに購入することになります。代金は50円です。担任の先生に申し出て、購入してください。